

民族学校としての建国、私立学校としての建国の、両方の側面から更に学校教育力をアップしていくとともに、保護者と連携をとりながら生徒の知・徳・体の総合的な伸張を図る。

1. 民族教育

本校建学の精神と学校方針を十分に学校関係者・生徒・保護者に伝え、学校の教育目標がより高い次元で実現できるように協力体制を作る。具体的には、民族的自負心育成のためのカリキュラムを作成し実践する。

2. 学習

分かりやすい授業・集中して取り組める授業を目指し、基礎を固め、それぞれの力に合った更なる学力の向上を図る。また、生徒全員が、トリリンガルを目指し、語学学習に力を入れる。

3. 基本的な生活習慣

思春期という大きな成長過程の中で、礼節を学び、基本的な生活習慣を養い、心身共に健やかな成長を目指す。

団体生活におけるルールを遵守しながら充実した中学生活を送る。

4. 学校環境整備

学習環境を整え、清潔で整備された学校を目指す。身の回りの整理整頓、清掃を心がける態度を養う。

5. 人権教育の推進

全ての人の人権が重要であるということを認識できるようにし、自分の人権だけでなく、他人の人権をも、共に尊重する教育を実施する。道徳・HR の時間を活用し、体験型学習を含め具体的事象に接しながら学習効果を高めていく。

民族학교 그리고 사립학교로서 건국학교는 어느 쪽에도 모자람이 없이 지도함은 물론이며, 특히, 학력 신장을 목표로 학생, 학부모, 학교가 삼위일체가 되어 노력하여 궁극적으로는 학생의 조화로운 지·덕·체 신장을 도모한다.

1. 민족 교육

본교의 건학 이념과 민족 의식을 학생·학부모들이 충분히 이해할 수 있도록 하여, 학교의 교육 목표가 보다 높은 차원에서 실현될 수 있도록 협력 체제를 만든다. 궁극적으로는 민족적 자부심의 육성을 위한 교육과정을 편성하여 실시한다.

2. 학습

이해하기 쉬운 수업, 집중할 수 있는 수업을 목표로, 학생 개인의 수준에 맞는 수업을 진행하여 학력 향상을 도모한다. 또 중학생 전원이 트리링글을 목표로 어학능력 향상에 힘쓴다.

3. 기본적인 생활 습관

중학생으로서 가져야 할 기본적인 생활 습관 및 도덕 규범 등을 몸에 익혀, 심신이 모두 건강하게 성장할 수 있도록 장려한다. 단체생활에 따른 규칙을 준수하면서 알찬 학교 생활을 보내도록 한다.

4. 학교 환경 정비

교육 환경을 정돈하여 보다 깨끗한 학교를 만들도록 한다. 자기 주위를 항상 정리정돈하며 청소를 깨끗이 하도록 한다.

5. 학생 인권 교육의 추진

모든 사람의 인권이 중요하다는 것을 인식할 수 있도록 하여, 본인의 인권뿐만 아니라 타인의 인권을 함께 존중하는 교육을 실시한다. 이를 위하여 도덕, HR 시간을 활용하여 좀 더 구체적인 사례와 체험활동 위주의 수업을 통하여 학생들의 관심과 이해를 높인다.

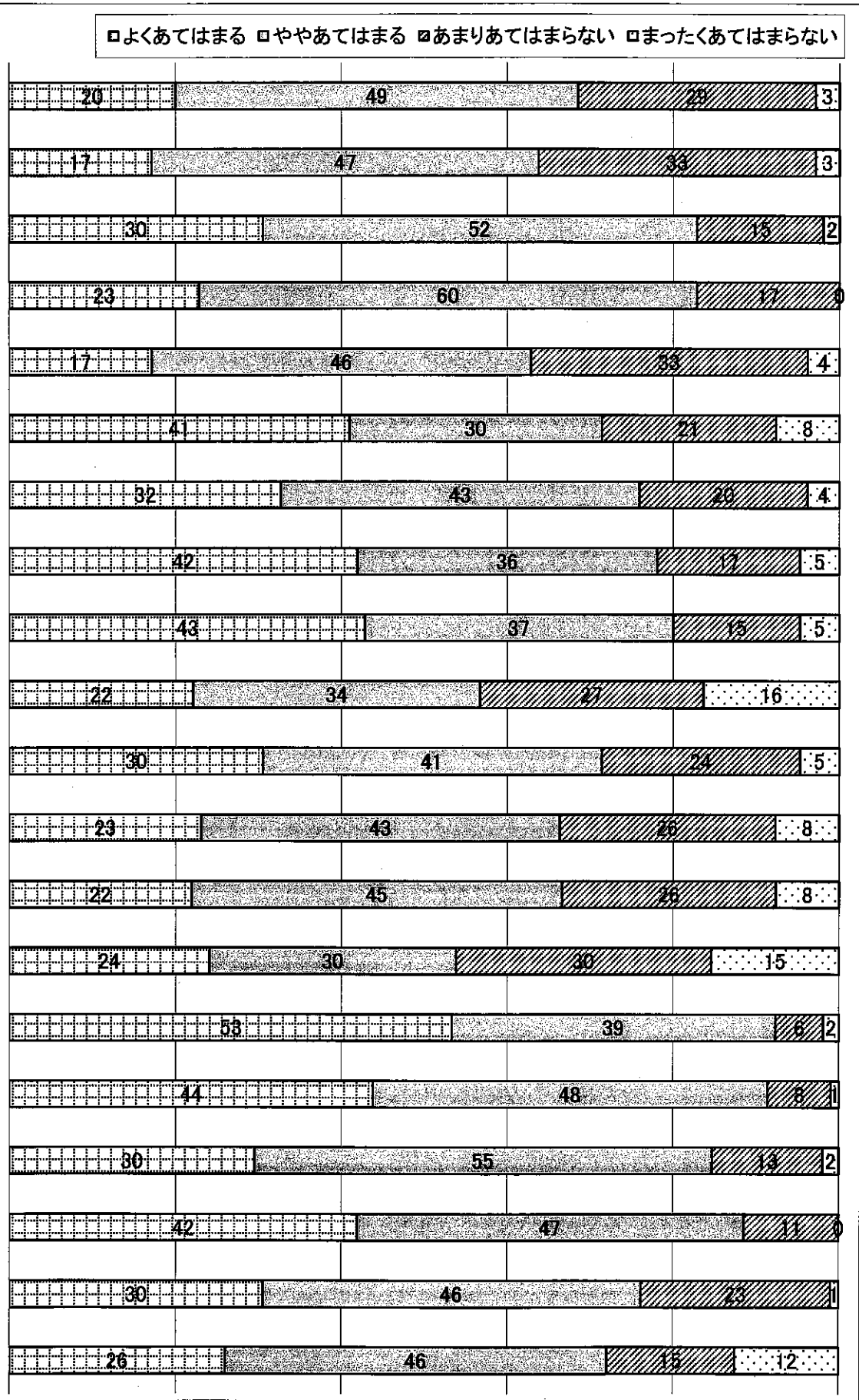
2014年度建国中学校 学校評価生徒アンケート

実施2015年1月

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

単位は%

番号	設 問	生徒集計結果				教員	
		A	B	C	D	A+B	C+D
1	本校創立の精神と歴史を理解している。 本校 창립 정신과 역사를 이해하고 있다.	20	49	29	3	69	31
2	本校の教育理念・目標を理解している。 本校의 교육이념과 목표를 이해하고 있다.	17	47	33	3	64	36
3	学校に誇りを持っている。 학교에 대한 긍지를 가지고 있다.	30	52	15	2	83	17
4	授業は集中して受けている。 수업 시간마다 집중하여 수업을 듣고 있다.	23	60	17	0	83	17
5	授業は工夫されていてわかりやすい。 수업은 잘 연구하여 가르치고 있으며 이해가 잘 간다.	17	46	33	4	63	37
6	授業のわからないところなどについて質問しやすい。 수업 중 모르는 부분에 대하여 질문하기 편하다.	41	30	21	8	71	29
7	基本的な生活習慣がつくようにしっかりと指導している。 기본적인 생활 습관이 형성되도록 제대로 지도하고 있다.	32	43	20	4	75	24
8	安心・安全な学校である 안심하고 안전하게 다닐 수 있는 학교이다.	42	36	17	5	78	22
9	学校行事(体育祭・文芸祭・球技大会・修学旅行等)は充実していて楽しい。 학교 행사(체육제/문예제/문예제/구기대회/수학여행 등)는 알차고 즐겁다.	43	37	15	5	80	20
10	学校行事は、年間を通してうまく配置されている。 학교행사는 한 해동안 적절하게 안배되어 있다.	22	34	27	16	56	43
11	선생님의指導は校則に従って適切に行われている。 선생님의 지도는 교칙에 따라 적절하게 이루어지고 있다.	30	41	24	5	71	29
12	선생님은生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。 교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.	23	43	26	8	66	33
13	선생님은生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握している。 선생님은 학생 한 사람 한 사람의 성격이나 장·단점을 잘 파악하고 있다.	22	45	26	8	67	33
14	悩みを相談する環境がある。 고민을 상담할 수 있는 환경이다.	24	30	30	15	53	46
15	学校生活の中できちんとあいさつするよう心がけている。 학교 생활 중에 제대로 인사를 하기 위한 노력을 하고 있다.	53	39	6	2	92	8
16	先輩や先生などの目上の人にていねいな言葉遣いをしている。 선배와 같은 상급자나 선생님께 정중한 말씨를 사용하고 있다.	44	48	8	1	91	9
17	校内の美化・清掃にしっかりと取り組んでいる。 교내 환경 미화와 청소를 제대로 하고 있다.	30	55	13	2	85	15
18	校内の施設・備品を大事に使っている。 교내의 시설과 비품을 소중히 사용하고 있다.	42	47	11	0	89	11
19	学習に熱心に取り組んでいる。 학업에 열심히 매진하고 있다.	30	46	23	1	76	24
20	記念講話などで話される内容を理解できる。 기념 훈화 등에서 말한 내용을 잘 이해할 수 있다.	26	46	15	12	71	28



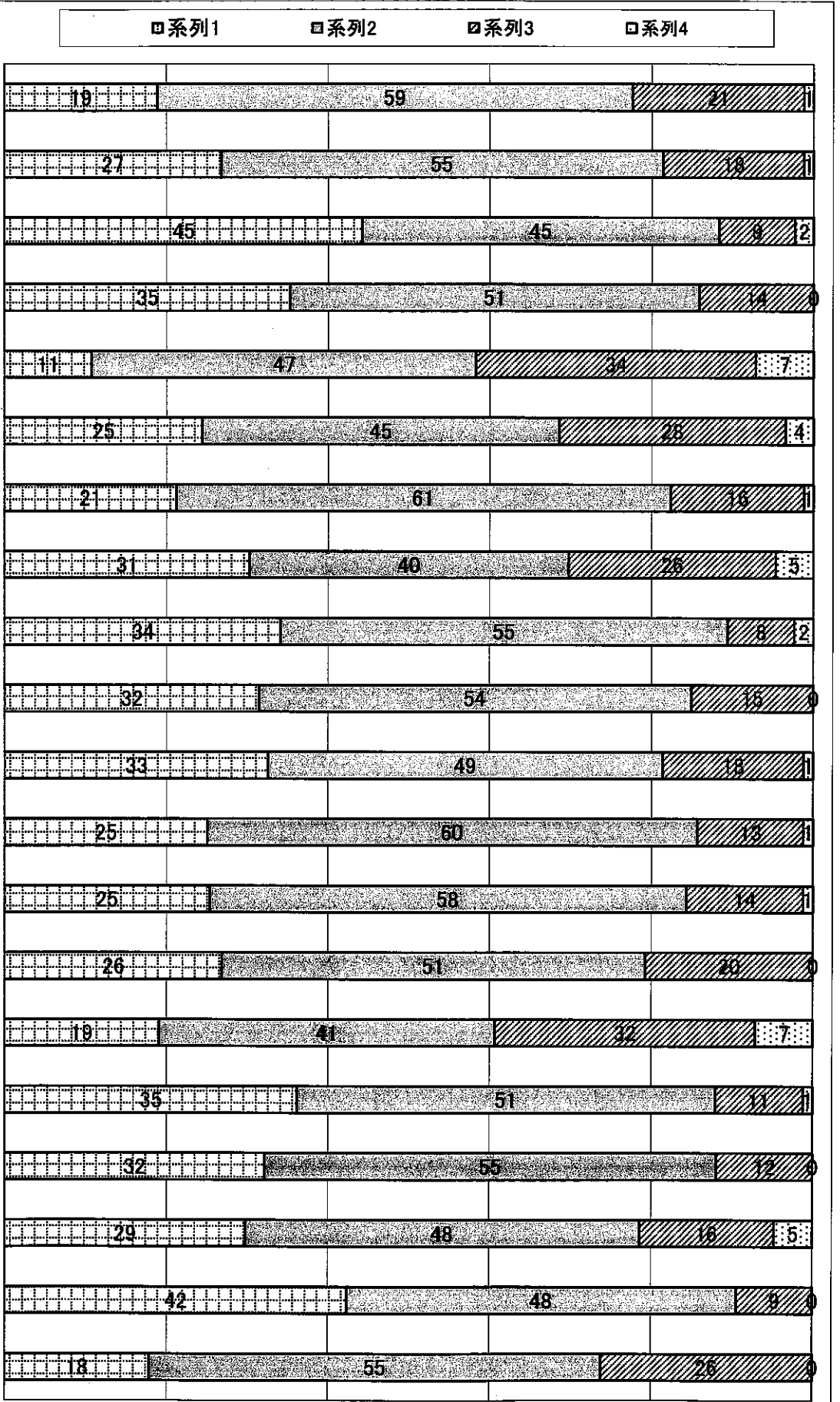
2014年度建国中学校 学校評価保護者アンケート

実施2015年1月

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない 教員自己評価はA=4点D=1点として平均集計

単位は%

番号	設 問	集 計 結 果					
		A	B	C	D	A+B	C+D
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。 학교는 교육방향을 알기 쉽게 전달하고 있다.	19	59	21	1	78	22
2	学校が保護者に出す文書や事務連絡等は適切である。 학교가 보호자에게 보내는 문서나 사무 연락 등은 적절하다.	27	55	18	1	82	19
3	生徒は学校に行くのを楽しみにしている。 학생은 학교에 가는 것을 즐겁게 생각하고 있다.	45	45	9	2	89	12
4	生徒の学習の状況を懇談等を通じて知ることができる。 학생의 학습 상황을 간담회 등을 통해서 알 수 있다.	35	51	14	0	86	14
5	生徒は授業がわかりやすいと言っている。 학생은 수업의 내용이 이해가 잘 된다고 한다.	11	47	34	7	58	41
6	生徒は授業以外での学校や、家庭での学習活動にも積極的だ。 학생은 수업 외의 학습활동도 적극적으로 한다.	25	45	28	4	69	32
7	基本的な生活習慣に対する指導が行われている。 기본적인 생활 태도에 대한 지도가 행해지고 있다.	21	61	16	1	82	18
8	帰宅時刻は中学生らしく適切である。 귀가 시간은 중학생답게 적절하다.	31	40	26	5	71	31
9	安心・安全な学校である。 안심하고 안전하게 다닐 수 있는 학교이다.	34	55	8	2	89	11
10	学校行事(体育祭・文芸祭・球技大会・修学旅行等)の内容は充実している。 학교 행사(체육제/문예제/문예제/구기대회/수학여행 등)의 내용은 알차다.	32	54	15	0	86	15
11	学校行事は、年間を通して適切に配置されている。 학교행사는 한 해동안 적절하게 안배되어 있다.	33	49	18	1	82	19
12	教師の指導は校則に従って適切に行われている。 교사의 지도는 교칙에 따라 적절하게 이루어지고 있다.	25	60	13	1	85	14
13	教師は生徒の人格を尊重した態度で生徒に接している。 교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.	25	58	14	1	82	15
14	教師は生徒一人ひとりの性格や長所・短所を把握している。 교사는 학생 개개인의 개성과 장・단점을 파악하고 있다.	26	51	20	0	76	20
15	生徒が悩みや相談を話しやすい環境である。 학생들이 고민을 말하거나 상담을 하기 쉬운 환경이다.	19	41	32	7	60	39
16	生徒は学校生活の中できちんとあいさつをしている。 학생들은 학교 생활 중에 인사를 제대로 하고 있다.	35	51	11	1	86	12
17	生徒は目上の人にていねいな言葉遣いをしている。 학생들은 윗사람에게 공손한 말씨로 말하고 있다.	32	55	12	0	87	12
18	校内の美化・清掃が行き届いている。 교내 환경미화와 청소는 제대로 되어 있다.	29	48	16	5	78	21
19	生徒の友人関係は良好である。 학생과 친구들의 관계는 양호하다.	42	48	9	0	91	9
20	学習に対する取り組みの姿勢ができています。 학생은 학습에 대한 노력의 자세가 되어 있다.	18	55	26	0	73	26



2015 年 5 月 22 日

学校法人白頭学院
理事会・評議員会 貴下

白頭学院建国中学校
学校関係者評価委員会
委員長 鄭朝子

2014 年度学校関係者評価

○学校関係者評価内容

：生徒・保護者のアンケート並びに、教員による自己評価を踏まえ作成された学校の自己評価に対して、その妥当性を評価し、また、改善法案などの意見交換を実施。

○学校関係者評価委員会実施について

- ・日程：2015 年 3 月 27 日
- ・場所：白頭学院 会議室
- ・学校関係者評価委員会人員構成(参加者)： 3 名
中学校 鄭朝子 P T A 会長
金広美 P T A 副会長
李鐘建 教 頭

初めに：

当委員会は、「学校の重点目標」、「生徒アンケート」、「保護アンケート」、「学校自己評価」の結果を受け、「学校自己評価」が適切な評価であるかを中心にして、以下の「学校関係者評価」を行いました。

○「学校評価」について

別紙参照

目指すべき学校像		国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。		達成度		A	ほぼ達成	(80%以上)
						B	概ね達成	(60%以上)
						C	変化が見られる	(40%以上)
						D	不十分	(40%未満)
重点目標		A 民族教育	建学の精神を伝え、教育目標が高い次元で実現するように協力体制をつくる。	達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。				
		B 学習	分かりやすい授業展開し、生徒全員の学力向上を目指す。					
		C 生活習慣	心身共に健やかな成長を目指す。					
		D 人権教育	他人を思いやる心を育て、人権の重要性を認識する。					
		E 環境整備	学習環境を整え、清潔で整備された学校を目指す。					
学 校 評 価								
年度目標		年度評価(12月10日現在)						
番号	アンケート番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
A	1. 2. 3. 20	学校創立70年を目前に控え、本校は大きな岐路にあり、生徒や保護者は私立学校としての学校と民族学校としての学校の2つの教育に期待して入学している。創立者たちの建学の精神と現代社会のニーズを取り入れた教育の実践が本校の課題である。民族教育を通じて人として「生きる力」を養い、隣人たちと共生し、国際社会に貢献できる人材をと育てるのが本校の目標である。一昨年から始まった校舎再建築工事も終わろうとし、新しく整備された環境で再スタートの時期を迎えている。昨年度のアンケートから多くの生徒が学校に対して「誇り」を感じており、更なる努力がの継続が必要である。	生徒が自身のルーツを考えと共に、学校の設立経緯から、民族教育が目標とする人間像を理解する取り組みの実施。	・「幻のフィルム」の有効的な利用方法の実施。 ・文化祭の取り組みに、学校創立の経緯や民族教育に関する取り組みを入れる。 ・創立記念講和、4. 24 記念講和、解放記念講和等の学校創立の歴史的背景になる記念講和の講和の内容検討。	・「学校に誇りを感じる」生徒が80%を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が80%を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が80%を超える。	・校舎再建築工事期間中のため校内施設を十分に活用することができず、各記念講和等の時間も十分に確保できなかった。そのため昨年よりも低い評価が出た。 ・生徒達が団結心や一体感を感じ、学校への誇りを感じる行事の一つである体育祭や文化祭が例年のように行うことができなかった。	B	・校舎再建築工事に伴い、歴史を感じる建物がなくなったが、校舎の一角に「民族資料コーナー」が新設するので、この場所の展示物等を有効的に活用して学校設立に関わる背景を理解させたい。 ・学校設立当時を記録した「幻のフィルム」を活用するとともに、在日歴史資料館と連携して、歴史資料からも困難な時代、困難な環境の中での創立であったことを再確認する ・校舎再建築工事のために、十分に実施できなかった体育祭、文化祭等の生徒主体の行事を、生徒達に計画をつくらせ、連帯感あふれる行事になるように指導する。
			積極的な学習活動への取り組み	・従来から使用してきた「学習記録」を発展させ、学習活動記録手帳「スコラ」を導入する。「スコラ」はその日の生徒個人の学習にかかわるすべての内容を記入し、気づいたこと、発見したこと、反省することなどを報告する手帳である。担任は日々「スコラ」から生徒の行動や心の動きを読み取ることができる。また、保護者も記入することできる。	・日々の「スコラ」の記入と提出を徹底する。 ・「スコラ」の記載事項から的確な生徒指導をはかる。 ・「授業に集中している」「授業が分かりやすい」生徒が80%を超える。	・各担任が「スコラ」への取り組みが徹底されたため、生徒アンケートから生徒が積極的に授業に参加していることが理解できる。 ・「授業に集中している」生徒が昨年よりも上昇し、60%を超えた。 ・工事期間中のため、落ち着いた環境での授業を行うことができなかった。	B	・今年度から導入した「スコラ」の指導を強化して生徒の日々の宿題の完成度、予習状況、試験対策時間等を担任を始めとして、すべての教員が把握できる研究を進める。 ・生徒の「スコラ」の書き方、活用方法について生徒どうしで、情報を共有できるように見本のなる「スコラ」を公開する。 ・生徒の学習意欲を引き出す工夫を、計画的に継続的に案出する。
B	4. 5. 6. 19	昨年度のアンケートでは、生徒は「授業への集中」「授業の分かりやすさ」では60%以下の評価であった。生徒個々の学習意欲、学習目標が不明確な生徒が多かったようである。[やれば、できる]の達成感を感じさせるためには教員側の指導が重要であり、生徒は達成感を持って積極的に行動する。生徒のやる気を向上させるには、教員との意思疎通の機会を増やすことも一つの方法であり、従来から実施してきた「学習記録」の活用拡大が必要である。	確かな学力の向上と授業改善の研究	・落ち着いた環境づくり ・時間通りの授業開始、終了の徹底 ・実力試験に対する学習活動の奨励 ・学習合宿、補習授業参加の奨励	・計画的かつ継続的な学習指導計画を実施する。	・「授業が分かりやすい」と判断する生徒が昨年よりも上昇したが60%強に留まった。	B	・学習面で生徒が達成感を持つようにするために、各教員がどのような努力を個々で行っているか、情報を共有する。
			学校生活を充実させるために。	・登校指導の継続 ・毎週の朝礼時での生活目標の確認と励行の呼びかけ ・生徒が主体の学校行事の実施に向けた取り組み方法の検討。 ・姉妹校との交流活性化 ・交換留学の奨励	・生徒の行事に対する満足度80%以上を目指す。 ・アンケートによる改善点の見直し ・生徒指導規定の規範意識の向割合を向上する。。	・アンケートから生徒たちはさまざまな学校行事を積極的に取り組もうとする姿勢がうかがえる。 ・教員の指導が偏りなく行われていると判断する生徒が、73%であり、さらに向上しなければならない。	B	・生徒どうし、生徒と教員が常に明るく挨拶できる環境づくりを今後も研究・実施する。 ・生徒たちが自主的、主体的に個人又は団体で取り組めるような発表会、プレゼンテーション等の行事を導入する。
C	7. 8. 9. 10. 11. 15. 16	概ね生徒たちは、学校生活に信頼を置き、学習活動に取り組んでいることがアンケートから分かる。中学生という多感な世代から判断すると、生徒一人ひとりが自身の責任や役割をわきまえている証にも取ることができる。生活習慣の安定は学習活動やその他にも深くかかわる分野であるため、更なる向上を目指したい。また、安全で安心な学校づくりのため、校舎の立替を行い当たらし環境で学習活動に取り組めるように、今後も努力を継続する。また、生徒に最も近い担任や教科担当の指導力、授業力の向上が最も不可欠な部分であり、生徒達が自ら体験し、行動する環境づくりに取り組む必要がある。	安全・安心で規律正しい学校生活づくりの推進	・けじめある生徒指導の実施と啓蒙 ・登下校時マナー指導の徹底 ・工事期間中の校内の安全点検 ・防犯教室の実施 ・SNSの正しい利用方法の講習の実施	・悩みや相談において学校や教員を信頼する生徒を増やす取り組みを行う。 ・登校指導を計画的に行い生徒のマナー意識が高まる。	・学校全体に節度があり、礼儀正しく振舞えるようになった。 ・登校指導の拡充から、挨拶を正しくする生徒が増えた。 ・生徒の防犯意識が向上した	B	・今後も外部講師を招いて防犯、SNS、薬物等の講演会を実施する ・全校集会等でマナーへの意識向上について、定期的に講話や取り組みを行う。 ・校則に対する妥当性を感じない生徒の割合を減らす。
			学校行事を通じた人格形成の充実	・工事中のため文化祭、体育祭の校外での実施。 ・海外に姉妹校を設ける ・短期交換留学を実施して学習意欲を高める。	・行事内容にかかわらず生徒の主体性を重視する。 ・交換留学生を姉妹校に送る	・「学校行事」の満足度が64%で、生徒が行事に追われて学校生活を送っている様子が伺えた。 ・体育祭、文化祭を校内での実施を望む生徒が大半であった。	B	・新校舎完成により、新しい環境で体育祭、文化祭が生徒主体で取り組めるよう取り組みを行う。 ・行事を通じて感じたことを生徒たちが発表できる機会を設ける。
D	12. 13. 14	道徳の時間を利用して「差別」「平等」「国籍」「違い」などをテーマにした授業を行っている。また、外部団体と協力して「高齢者施設訪問」「身体障害者理解学習」「車椅子体験」等を行って来た。生徒はどの取り組みにも積極的である。しかし、個人レベルの人権意識では、不明確な点が多い。学級内で友人に使う不用意な言動、誤解を誤解を招く行動がしばしば見られる。また、多感な世代特有の悩みや不安を生徒自身がどのような形の解決策を見つけるかを、見守る必要がある。	自分を認め、他人の存在を認める「心」の余裕を身につける。	・人権意識の向上のための取り組みの継続 ・スクールカウンセラーの継続 ・外部団体との協力体制の維持と強化 ・教員による生徒一人ひとりの個性の把握、理解	・学期ごと、学年ごとのテーマに沿った取り組みの達成度が70%である。 ・外部団体との情報交換から、本校の取り組みに対する講評を聞く	・社会的弱者に対する「いたわり」や「違い」「平等」などの認識は向上している傾向にあるが、実生活における他人への「配慮」の面では不十分な面が多々見られた。	B	・学校だけに留まらず、日常生活の中で「自己」の主張の仕方や「他人」の存在への配慮を学ぶ機会を研究する。 ・外部の専門家による講演、講習等の検討 ・従来の取り組みの継続 ・校内の人権に関するアンケート調査の実施と現況分析
			美化意識の向上から教育環境の健全化と安全な学校づくりを目指す。	・校内美化状況の確認と点検方法の見直し ・清掃活動奨励の強化 ・清掃用具の点検と充実	・日常生活の中から常に教室内が整理頓された状態であるように心がける意識を持たせる。 ・美化意識が強い生徒が80%を超える。	・ほこりまみれの校舎内でも積極的な美化行動が多々見られた。 ・教室内の整頓が不十分なことが見られた。	A	・新校舎完成により生徒達の美化意識は向上すると予想されるが、校内美化がもたらす効果を再認識させる。 ・清掃分担箇所の確認の徹底と清掃方法のマニュアル化を推進する。 ・全員清掃日を強化して美化に対する連帯感を強化する。
E	17. 18	一昨年から始まった校舎再建築工事の期間中であったため、生徒達は騒音とほこりに悩まされる状態が続いた。昨年のアンケートでは8割程度の生徒は老朽化した校舎であったが美化意識を向上させることができていた。						

学校関係者評価	
実施日	2015年 3月 27日
学校関係者の意見・評価等	
《A》民族学校としての独自性のあるカリキュラムを踏襲し、且つ日本の学校教育の枠組みをしっかりと踏まえた、質の高い学びの場であると多くの保護者達が考えている。自分達のルーツに誇りと尊厳を持てる人間性の育成、それと共にグローバルな価値観が学校生活の中で自然に身につけられる事への評価も非常に高かった。	
《B》生徒の授業への取組姿勢はアンケート結果に表れているが、学ぼうとする意識はかなり高いが、その意欲を学習成果に反映させられる生徒は、残念ながら過半数にも満たない現状への早急な対応策を望みます。保護者は、学校と密に連携を取れているというアンケートの一方で、子供の学習面やメンタルケアに対する学校の対応への不安が、生徒が答えた同じ回答より高い結果となった。スクールカウンセラーや教師と保護者、この三者が連携し生徒を取り巻く環境の向上について、多面的アプローチができないのかという声が多く出ました。	
《C》多感な年頃の生徒達。それぞれに問題や悩みを抱えているはずである。それでも、学校生活を混乱させたり、他者を傷付けても平気で暴走するような行為は、過去も未来も起こりえない。なぜなら彼らは、社会的マイノリティーであるこの意味を、日々礼節を礎として正しく学ぶ場が学校であると認識しているから。生徒数は少ないが、家族のように繋がり深い彼らにとって、学校行事への思い入れはとて強い。行事は、数よりも中身の充実を望む声、特に生徒から多数あった。	
《D》幼小中高が同じ敷地内で各々の学びの場があるこの環境が、自分とは違う立場の人に目配りや気配りが自然にできる感性が育まれる。幼少期から通う生徒は、幼少期に優しくしてくれたお兄ちゃんやお姉ちゃんの年齢に今は自分になっている。自分が可愛がってもらった嬉しい記憶は、今は幼少の子達に引き継がれているようです。優しさという感情は、そうやって人から人へと伝わってゆくんだな、と生徒達を見て改めて感慨深くなりました。	
《E》お手洗いが洋式便座になり、和式の頃の嫌な臭いが今はないそうです。すると、便器ですら清潔を保つ為と素手で拭き、隅々まで完璧に仕上げるのが普通になったそうです。御不浄を美しく保つことが普通。なんて素敵なエピソードだらうと思いました。生徒達は、そんな素敵なエピソードを新しい学校からプレゼントされているようです。	